

経済振興委員会報告資料

福岡市博物館リニューアルに伴う
はかた伝統工芸館の仮移転について

令和 6 年 12 月
経済観光文化局

福岡市博物館リニューアルに伴うはかた伝統工芸館の仮移転について

本市の公の施設である、はかた伝統工芸館（以下「工芸館」という。）について、現在福岡市博物館内にて運営を行っているが、博物館のリニューアルに伴い退去する必要が生じたため、仮移転について報告するもの。

1 設置目的

工芸館は、本市を代表する伝統的工芸品である博多織及び博多人形その他の伝統工芸品の紹介、展示、情報提供等を行うことにより、本市の伝統産業の承継及び発展を図り、もって市民の豊かな生活の形成と地域の活性化に資するため設置するもの。

2 経緯等

(1) 旧工芸館【平成 23 年 4 月開館】

旧冷泉公民館（昭和 51 年建築）を改修し開館。

- ・延べ床面積：281 ㎡
（展示区画 137 ㎡＋事務所・倉庫等 144 ㎡）
- ・機能：福岡・博多ゆかりの伝統工芸品の
①展示、②販売



【旧工芸館】

(2) 現工芸館【令和 3 年 4 月 28 日移転】

福岡市博物館 2 階展望ロビーへ一時移転。

- ・延べ床面積：191 ㎡
（展示区画 173 ㎡＋事務所 18 ㎡） ※別途倉庫を利用
- ・機能：福岡・博多ゆかりの伝統工芸品の
①展示、②販売、③体験事業（博多人形・博多張子の
絵付け、博多織の小物制作を不定期に実施）



【現工芸館（福岡市博物館2階）】

3 移転の理由

(1) 福岡市博物館リニューアル

令和 6 年度から収蔵庫棟工事が始まり、令和 7 年度には、現工芸館において博物館本館との連結部分である渡り廊下の工事が始まるためできるだけ早期の退去が必要。

(2) 工芸館の意義

工芸館は、伝統産業の振興、伝統文化の継承のみならず、観光資源としても重要な役割を果たしてきているため、その機能を維持・強化する必要がある。

4 移転先の考え方について

- (1) 移転先候補地について、市有施設を検討したが、必要面積の確保困難や、高額な工事費等により、候補とするのは困難との判断に至った。
- (2) そのため、長い歴史の中で福岡・博多ゆかりの伝統工芸品が、育まれてきた博多旧市街を最優先の移転先の候補地として、民間施設も含めて移転先を検討することとした。
- (3) 博多旧市街にある民間施設について検討を行った結果、石畳風舗装に近く、インバウンドも含めた観光客等が散策の際にふらっと立ち寄り、工芸品との偶然の出会いが期待できるものの、十分な床面積を確保できないこともあり、下記5の施設を仮移転先候補とするもの。

5 仮移転先候補（案）

Park Front 博多駅前一丁目1階

所在地：福岡市博多区

博多駅前一丁目23-2

延べ床面積：123.69㎡



6 機能の強化

博多部への移転を機に、伝統工芸品

の紹介、展示、販売に加え、インバウンドも含めた観光客向けに、常に伝統工芸体験ができるスペースを新設し、機能強化を図ることにより、博多部のにぎわい創出や、博多旧市街の新たな立ち寄りスポットとして観光客の利便性向上にも寄与するようにする。

7 仮移転後の運営方法

基本協定等の変更により、現指定管理者による運営を行う。

- ・ 現指定管理期間：令和3年4月～令和8年3月31日
- ・ 次期指定管理者の選定手続きについては令和7年度中を予定

8 スケジュール

- (1) 条例改正・予算議案上程：令和7年3月
- (2) 現工芸館での運営：令和7年4月中旬までを予定
- (3) 仮移転先での運営：令和7年5月頃からを予定